国際ロータリー2590地区



ロータリー: 変化をもたらす

KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

麻生ロータリークラフ



会長 森 茂則

幹事 森 啓伊

第 1226 回例会記録 平成 30 年 3 月 2 日(金) S. A. A. 委員長 蓬田忠

【点 鐘】

森 茂則 会長

【例会場】

ホテルモリノ

[S. A. A.]

青戸 慶太 委員

【ソング】 国歌『君が代』ロータリーソング『奉仕の理想』

【ゲスト・ビジター紹介】

森 茂則 会長

◆北沢仁美 様 (麻生区長)

【今月の誕生日】

志村 幸男 親睦委員長

〈会員〉

- ◇花輪孝一会員(6 日)
- ◇志村幸男会員(23 日)

〈奥様〉

◇志村節子 様 (志村幸男夫人)



【志村会員のコメント】私と家内は同じ誕生月なので、昨日誕 生日祝いをいたしました。

【第9回理事·役員会報告】

森 茂則 会長

- 1. 新事務局員の件
 - 4月~6月は研修期間、7,8月は2名体制、9月から正式 勤務。また労災保険に加入する。 【了承】
- 2. 寄付要請 2件について⇒ニコニコより捻出 【了承】
 - ○東日本復興支援 植樹 ¥2000×32 ¥64000 (宮城県の特定プロジェクトへ5000本の植樹。)
 - ○台湾地震被災地支援 ¥1000×32 ¥32000
- 3. 新年度各委員会委員について

大野会員より 次年度は副委員長を設けてある。【了承】



4. 5月の会長幹事ご苦労様会について

【了承】

日にち:5月20日・21日 場所:箱根富士屋ホテル

- 5. その他① 創立記念例会収支(志村親睦委員長) 余った分は麻生BOXへ納めておく。 【了承】
- 6. その他② 百合丘 RC 会長より広告依頼

【会長報告】

森 茂則 会長

1. 川崎西北RCより

3月14日(水)第3Gゴルフの組合せ表が届いています。

【幹事報告】

森 啓伊 幹事

- ◆例会変更
- ○川崎とどろき RC ★3 月 19 日(月)休会
- ○川崎中 RC ★3 月 20 日 (火)休会
- ○新川崎 RC ★3 月 7 日(水)⇒2/27 の IM に振替
- ★4月4日(水)お花見例会 18:00 点鐘 武蔵小杉「ミュー」

【出席委員会】

杉山 遼 委員長

- 1		,				
	例会数	会員	出席	欠席	修正	出席率
	1226 回	32	26	6		81. 2%
	1225 回 (IM)	32	16	16	0	50.0% (100%)
	1224 回	32	26	6	1	84.4%

第1227回例会 3月 9日(金)招聘卓話(麻生消防署長) ホテルモリノ

第1228回例会 3月16日(金)会員ショート卓話

百合ヶ丘カントリー倶楽部

第1229回例会 3月23日(金) PETS報告

百合ヶ丘カントリー倶楽部

[例会日] 第1・2金曜日 12:30~13:30 [例会場] ホテルモリノ新百合丘 7F TEL:044-951-1322 [例会日] 第3・4金曜日 12:30~13:30 [例会場] 百合ヶ丘カントリー倶楽部 2F TEL:044-951-1322 第5・金曜日 休会または移動例会または百合ヶ丘カントリー倶楽部 2F 12:30~13:30 TEL:044-951-1322

【ニコニコ委員会】

碓井 美枝子 委員長

	第 1226 回(件数)	合 計	
====	23 件	¥23,000	

●会員

- ◇森茂則会長【北沢区長、卓話よろしくお願いします】
- ◇森啓伊幹事【同上】
- ◇志村幸男会員【トゥエンティワンにて、3/5~3/11までアルテ リッカの展示会よろしく】
- ◇鈴木昭弘会員【北沢区長、本日宜しくお願い致します!】
- ◇蓬田忠会員【北沢区長様お忙しいところ卓話ありがとうございます】
- ◇青戸慶太会員 ◇碓井美枝子会員 ◇宇津木茂夫会員
- ◇梅澤馨会員 ◇老沼純会員 ◇大野勉会員
- ◇親松明会員 ◇梶俊夫会員 ◇黒木啓太郎会員
- ◇佐々木範行会員 ◇佐藤達弥会員 ◇杉山遼会員
- ◇鈴木眞一会員 ◇鈴木豊成会員 ◇長瀬敏之会員
- ◇中山隆弘会員 ◇藤本隆会員 ◇雪井洋子会員

以上、ご協力ありがとうございました。

【ロータリー財団委員会】

鈴木 眞一 委員長

	第 1226 回(件数)	合 計	
R. 財団	6件	¥25,600	

- ◇宇津木茂夫会員 ◇梅澤馨会員 ◇梶俊夫会員
- ◇鈴木眞一会員 ◇鈴木豊成会員 ◇山下俊也会員

ご協力有難うございました。

【米山記念奨学委員会】

梶 俊夫 委員長

	1226 回(件数)	合計
米山記念奨学	7件	¥34, 000

- ◇鈴木昭弘会員【花粉症にはつらい季節になりました…】
- ◇宇津木茂夫会員 ◇梅澤馨会員 ◇梶俊夫会員
- ◇鈴木眞一会員 ◇鈴木豊成会員 ◇山下俊也会員

ご協力有難うございました。

【報告他】

大野 勉 次年度会長

2018-19 年度各委員会委員 一覧を皆様へお渡ししました。 (一部訂正があります。)

3月16日に PETS に行ってきます。また4月1に地区協義会がありますので、後日報告いたします。



「会長幹事ご苦労様会」の案内をポストへ入れました。 日にち:5月20日・21日 場所:箱根湯本富士屋ホテル ぜひ皆様のご参加をお願いいたします。

【社会奉仕委員会】

〈ポスター貼りについて〉環境美化ポスターを柿生小学校の4年生の子供達に描いてもらっています。長瀬会員のご協力でパウチをして、3月23日の例会終了後に麻生川沿いに掲示をしたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。



【創立記念例会収支報告】

志村 幸男 親睦委員長

収入(会費・例会費・新年会残金)から支出(旭鮨支払)を引いた残金3千円少々を麻生BOXへ入れました。

【卓話】

【プロフィール】

1978年、川崎市役所入庁後、市 民・こども局シティセールス広報室担 当部長、川崎区役所副区長、市民・こ ども局市民生活部長などを歴任し、20 16年4月より麻生区長となる。麻生区 勤務は昭和57年7月の分区時以来。

北沢 仁美 麻生区長



麻生区地域包括ケアシステムの推進

~地域の力を診断してみよう~

- ○平成28年4月区役所に「地域みまもり支援センター」が設置されました。
- ○保健師、社会福祉職ほか専門職が、地域の方々と顔の見える関係を作りながら連携・協力し、生活課題への対応や、地域活動の活性化への支援など、個別支援の強化と地域力の向上に取り組み、地域包括ケアシステムを構築することを目的としています。
- ○第一歩として、平成28年6月に地域みまもり支援センターの職員が、麻生区内の94の町会・自治会に出向き様々なお話しをお聞きしました。
- ○その中で、「自分たちの地域は何が足りないのか、どのようなことから取り組み始めたらよいのか分からない」「自分たちの地域の状況を客観的に知ることができたら、次のステップにつなげやすい」等の声があり、地域づくりに課題を抱えている地域は少なくないことが分かりました。
- ○課題を抱えている地域を支援する方法を模索する中で、今 回お試しいただく「ちいきのちからテスト」の作成に至りました。
- ○完成形ではないので、ご了承いただきまして、地域での活 用法などお知恵を拝借できれば幸せでございます。

【四つのテスト】

大野 勉 会員

【点 鐘】

森 茂則 会長

【会報委員会】

文責:中山 隆弘 委員

【HIKARU Report】2月月例報告

ドイツ派遣学生 竹尾 光 Guten tag! ドイツ派遣の竹尾光です。先月のレポートを見たある派遣生から、あんまり楽しくなさそうだ、と言われてしまったので、今月はそんなことはないと思ってもらえるように、多少旅行

記に近くなってしまうかもしれませんが、楽しかったことを多め にお伝えしたいと思います。

今月は 13 日までカーニバルでした。カーニバルと言えばブラジルのリオと思われるかもしれませんが、ドイツでも盛大に祝われます。特にケルンではとても大きなカーニバルが開催され、それはテレビで見ることができました。私のホストファミリーは私の住む地域の TGS というグループで色々な活動をしていて、カーニバルの期間中は毎週土曜日の夜に近くのステージで開催されるダンスや劇などの舞台を中心となって運営しています。ダンスや劇には参加しませんが、裏方として、チケットの販売や会場の準備など忙しい様子でした。ダンスや劇には小さな子どもたちから年配の方まで多くの団体が参加し、毎週

土曜日は深夜 0 時までそれが続き、会場は多くの笑い声で

溢れていました。また、カーニバル 2 週目からは会場にくる人

達全員が仮装をしてきました。 私もカーニバルカラーの赤、 白、青、黄色のズボンとジャ ケットを着て、参加しました。 今年の仮装のテーマはジャ ングルだったそうで、ホストフ ァザーはライオンの仮装をし ていました。いつもとは全く 違う派手な服に身を包み、 新鮮な気分になり、他の人た



ちの奇抜な格好には驚かされつつとても楽しめました。

カーニバルでは色々なことをいつもと変えます。例えば、ドイツでは普段「こんにちは」を Guten tag の他に Hallo(ハロー)と言いますが、カーニバルでは Helau(ヘラウ)と言います。これはドイツ国内でも地域によって異なるようで、ケルンでは Alaaf(アラーフ)と言うそうです。パレードの途中や舞台上で合言葉のように、大きな声で皆で「ヘラーウ!」と言い合います。



またカーニバルでは、ナポレオンのような帽子を被りますが、ナポレオンは面積の広い方を前に被っていますが、カーニバルでは面積の狭いほう、とんがっている方を前にして被ります。これはいつもとは違ってふざけた様子を表しているのだと、



ホストファミリーから教わりました。カーニバルは中世から始まったようですが、19世紀には為政者を馬鹿にするという要素が加わったそうで、フランス人やプロイセン人など支配者の持ち込んだ風俗や習慣がからかいの対象となったようです。ナポレオンの象徴とされる帽子を本来と違うかぶり方をしているのはそのためかと納得しました。

ふざけるときには全力でふざけるという、ドイツ人のある意味 まじめさをこんなところでも感じました。また、各地域で毎年大 人と子供それぞれのプリンセスとプリンスを選び、選ばれた四 人はカーニバルの主役を務めます。

カーニバルの主役を中心に大人も子供もお年寄りも、とにかく、普段のまじめなドイツの人々とは全く違って本気で仮装し陽気に騒ぎまくる様子を見ることができました。

特にホストファザーにとっては一年で最大の楽しみがカーニバルで、とても生き生きと嬉しそうでした。

また、カーニバルの終盤には五日間だけでしたが、日本から母と妹が来ました。フランクフルトの大聖堂や美術館、ライン川ほとりのブドウ畑などをホストファミリーに案内してもらい、多くの体験ができました。ホストファミリーと話す際には時々私が通訳代わりをしました。

久しぶりに家族に会え、楽しく有 意義な 5日間でしたが、特に印象に 残っているのはパレードの行われた 土曜日です。朝 6 時にナイトウエア

を意味する白い衣装を着て、TGS のメンバーと共に、大人の プリンスとプリンセス、そして子供のプリンス、プリンセスをそれ ぞれの自宅に起こしに行く朝のパレードに参加しました。 子供のプリンスを起こしに行った際、まさに寝起きで、髪の毛 がボサボサのまま登場し微笑ましかったです。



また、起こしに向かうパレードでは早朝だと言うのに、通り道の家のインターフォンを押したり、タンバリンやマラカスなどで大きな音をたてたり、やりたい放題でした。カーニバル中ならではの無礼講だなと思いました。その後家に戻り、日中は小さなパレードに参加しました。ホストファザーのはからいで、妹と2人、大きなTGSのプラカードをもってパレードの先頭に立ち町中を歩きました。歩いている途中、妹としりとりなどをしてふざけあっていましたが、久しぶりのことだったので、とても楽しい時間でした。パレードが終わると広場のステージでダンスや劇が行われていましたが、私のカウンセラーのマリオン夫妻が、二人が来ると知って会う時間を作ってくれたので、近くのアイス屋さんで待ち合わせました。私のこちらでの様子や日本の学校のことなど色々な話をしましたが、その時も伝わらなくなるとマリオンも母も私の顔を見るので、通訳が必要で大変でした。

とはいえ、まだまだ課題はあるものの、日常会話はある程度 通訳できるようになっている自分に驚き、さらに、母と妹の滞在 中にドイツ語が上達したような気がしています。そして、夜には 1 時間程度ですがカーニバルの舞台も見て、充実した一日を 終えました。二人の帰国後、体調を崩してしまい、自覚はあり ませんでしたが、滞在中は自分がなんとかしなくては、と気を

張っていたようです。

カーニバル最終 日の13日は私達が 参加した時よりも大 規模なパレードが 開催され、見に行き ました。

小さい子から地域



のアメリカンフットボールチームまで色々な人たちが参加し、一 日中楽器の音色が町中で響いていました。

カーニバルはドイツ語でファストナハトとも言い、「断食の前夜」を意味します。そのため、カーニバルが終わるとアルコールやスイーツを食べないと聞いていましたが、翌日ホストマザーに「アイス食べる?」と聞かれました。びっくりしていると、ホストファザーはダメダメと言っていましたが、それほど厳しい制約でも無くなっているのかなと思いました。(その後、ホストマザーは気にせずに食べ、私も食べました。)

17 日、ホストファザーから、カッセルでロータリーのミーティングがあるから一緒にくるか?と聞かれ、同行しました。私はてっきりホストマザーも一緒に来るのかと思っていましたが、ホストファザーと二人で向かい、ミーティング中は思いがけず 1 人で観光することになりました。カッセルには世界遺産のヘラクレス像があると薦められ、そこへ向かうことにしました。あまり利用したことのない、路上電車に戸惑いましたが、人に尋ねつつ、



待つのが嫌いな気の短い私は山を登れるという看板を見つけ、登るという選択をしました。今思えば、2 月のドイツ、ドイツの気候は北海道と同じくらい、なおかつそこが標高の高い山なのですから、バスを待つのが最適解でした。山はほぼ雪で覆われて、足場のない道を 1 人で登り続けました。

なかなか着かない中で、やっとの思いでヘラクレス像の看板を 見つけたのが約 2 時間後だったと思います。その後も迷いな がらなんとか到着した時にはもう立てないくらいにまで疲れて いたのを覚えています。

へラクレス像はとても大きく、下から見上げる形となったため 全体像がわかりにくかったですが、ヘラクレス像を見ることより も、ヘラクレス像に辿り着いたことの方が嬉しくて、感動したと 共に、もう二度と見切り発車で雪山に挑むことはやめようと心に 決めました。またこの経験でよかったことは、多くの人に自分から声をかけられた事です。地図を見てもよく分からない状況で、 人通りも少なかったので、人と出会うとチャンスとばかりに道を 聞き、その地域の人たちと不可抗力ではありますが、関わることができよい経験になりました。

また 24 日、25 日はホストファミリーと映画を見に行きました。24 日はマーベルのブラックパンサー、25 日は第二次世界大戦の時のイギリスの政治を描いた映画を見ました。スパイダーマンを含め、あまりマーベルを見たことが無かったので、ブラックパンサーのストーリーは理解できない部分もありましたが、ドイツ語の勉強にもなり楽しく観ることができました。25 日の映画は英語にドイツ語字幕だったので、少し理解しやすかったです。第二次世界大戦中のドイツのナチ党に、劣勢の状態から立て直すまでの話で、ドイツ側とは別視点で歴史を見ることができてよかったと思います。

以上楽しい様子を伝えられたかどうか・・・ わかりませんが、 3 月はいよいよ三週間にも及ぶヨーロッパツアーがあります。 ベルギー、フランス、スペイン、イタリア、オーストリア、ハンガリ ー、チェコ、と多くの国を回ります。それぞれの国の特色について予備知識を入れておき、問題意識を持って各国を訪問できるように準備をしたいと思います。